

失踪した母が
なぜか残していった
のが、この気色悪い
植物だ……

サボテン……？

父は、私がまだ
小さい頃に他界した
(らしい)

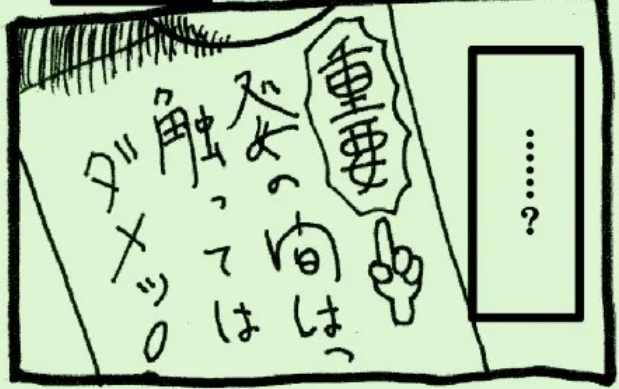
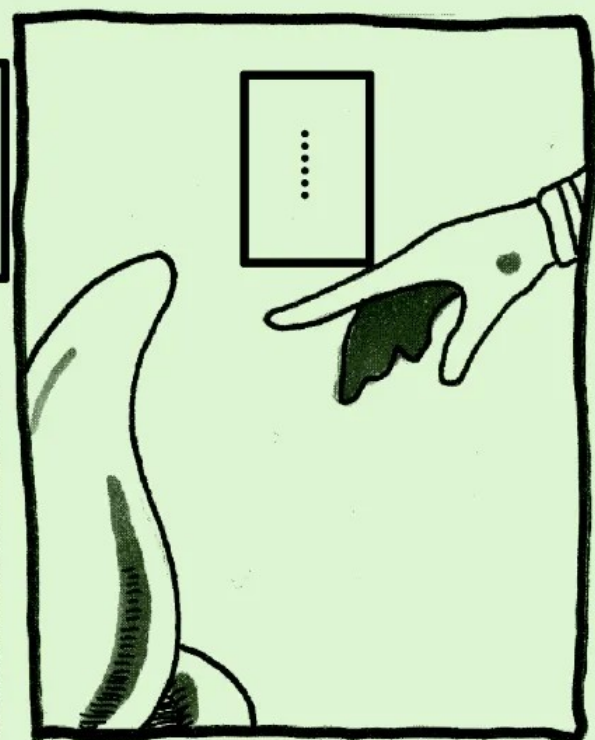
母はいわゆる淫乱女で、
正しい意味で日替わりで
男を連れ込んでいた

あの女の血が
半分でも流れて
いると思うと
気が滅入るが……

私名義の通帳には
結構な額のお金があり、
そのお陰で今の生活が
あると思うと……

……今もきつとどこかで
男のアレをくわえこんで
悦んでいるのだろう

それ程恨む気にも
なれなかった……

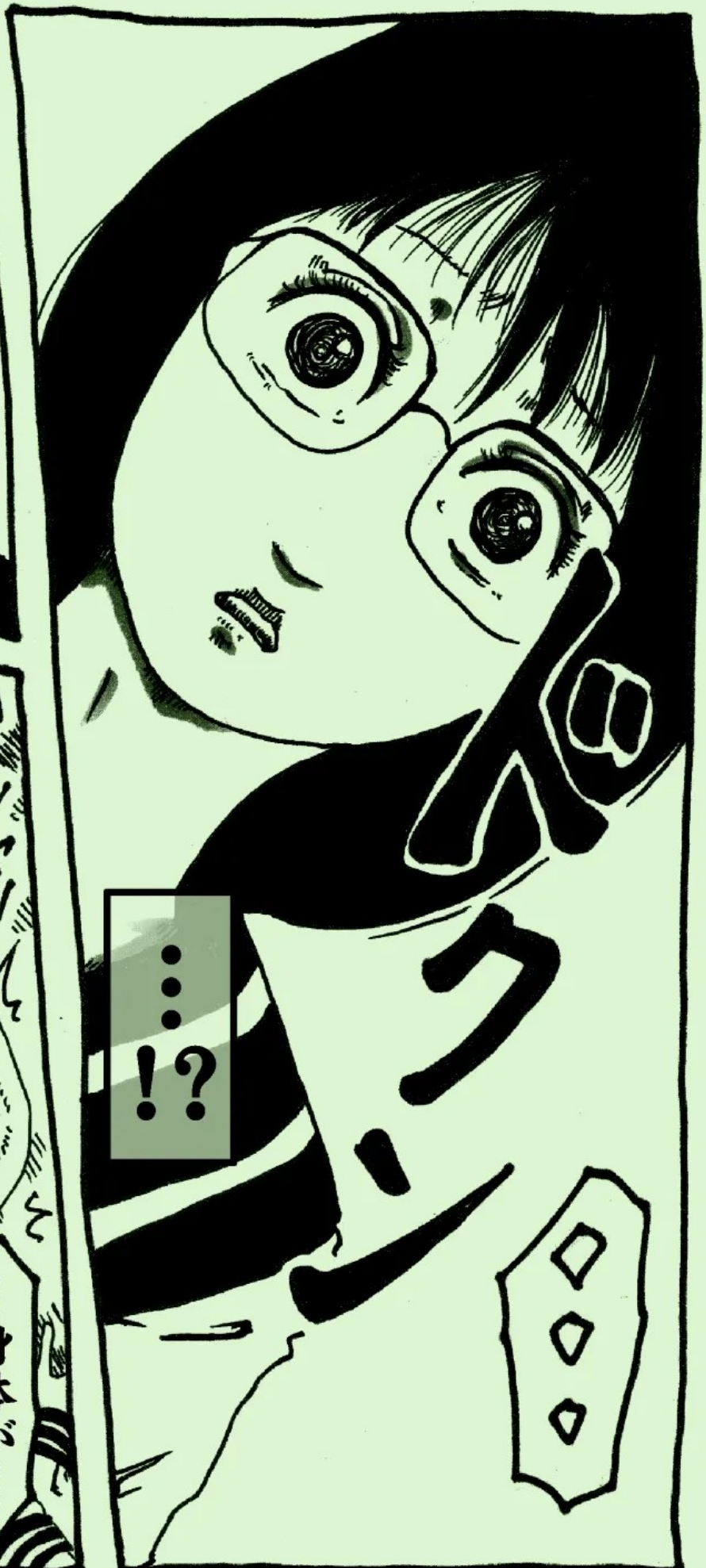




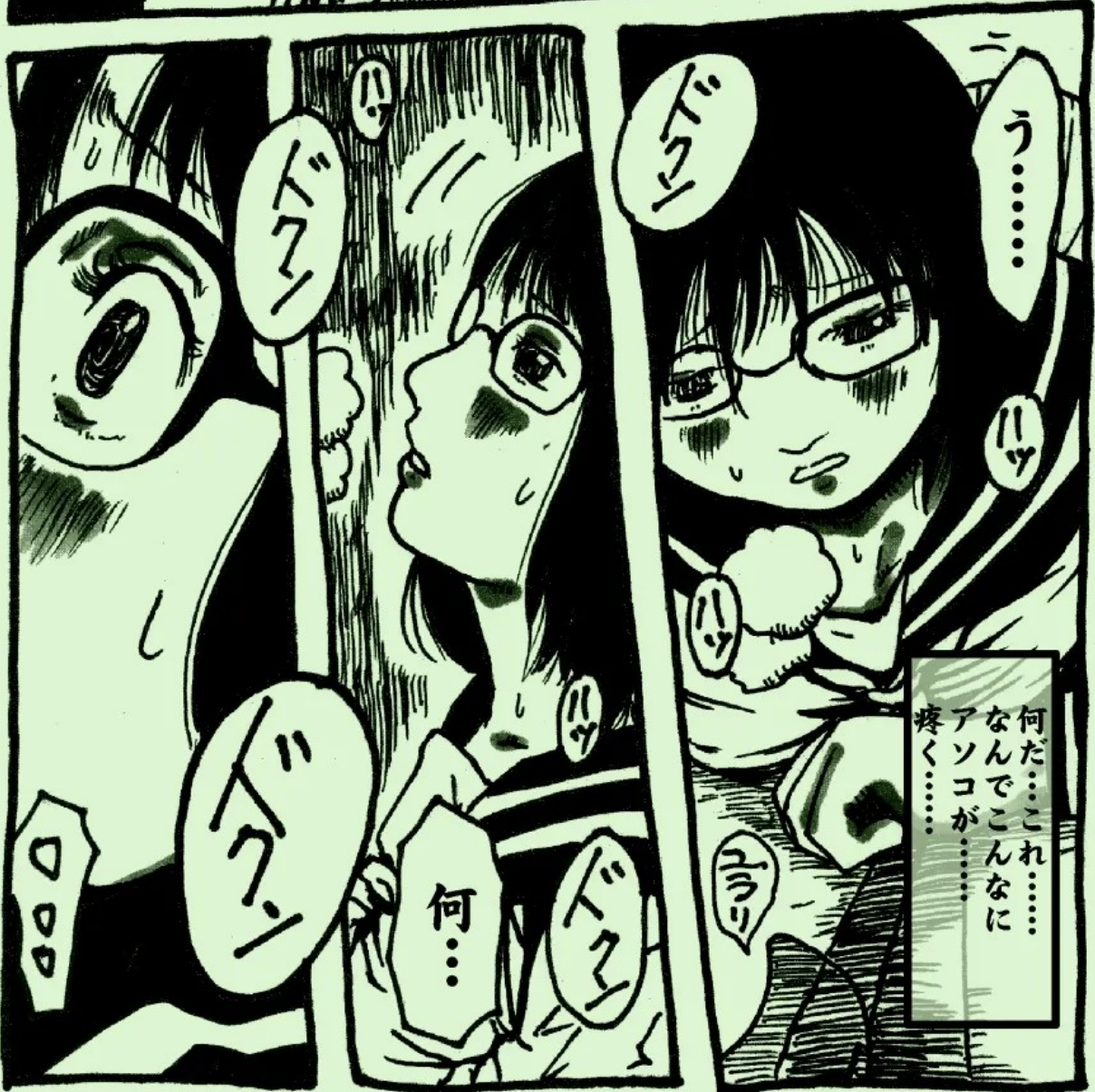
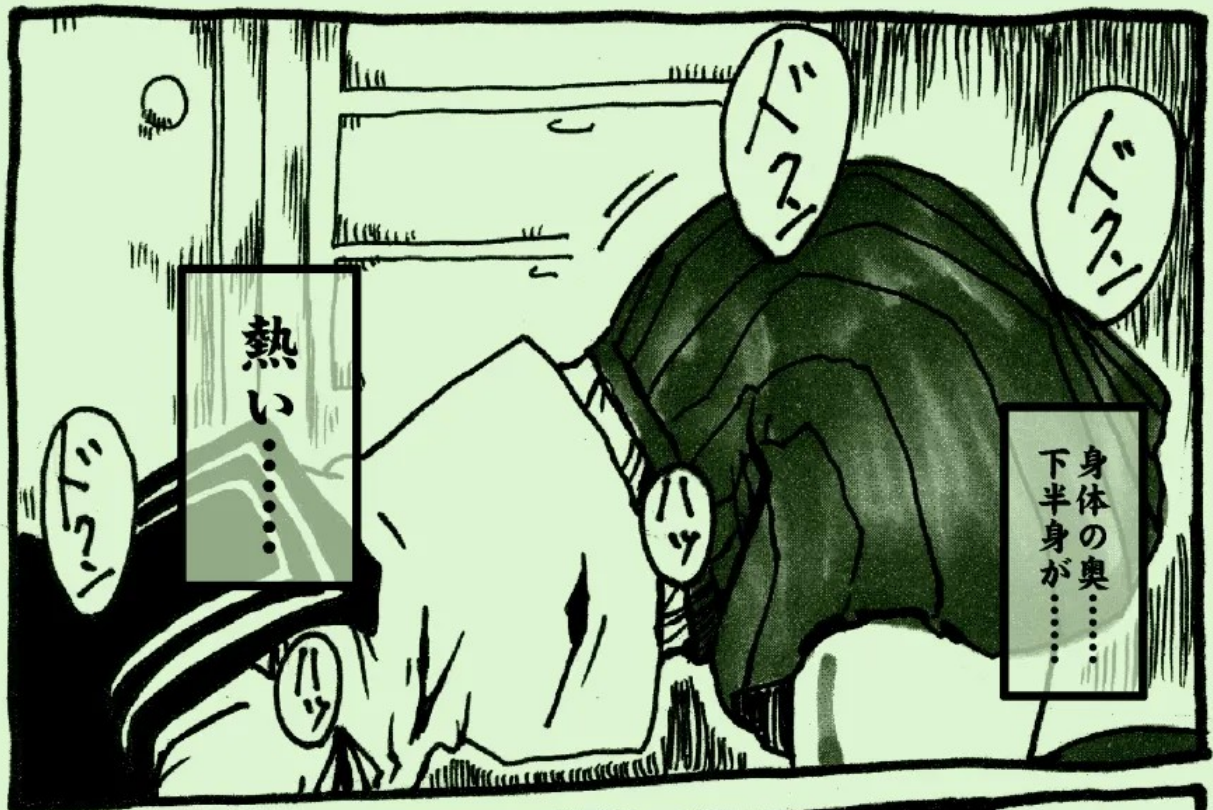
…何だ…?



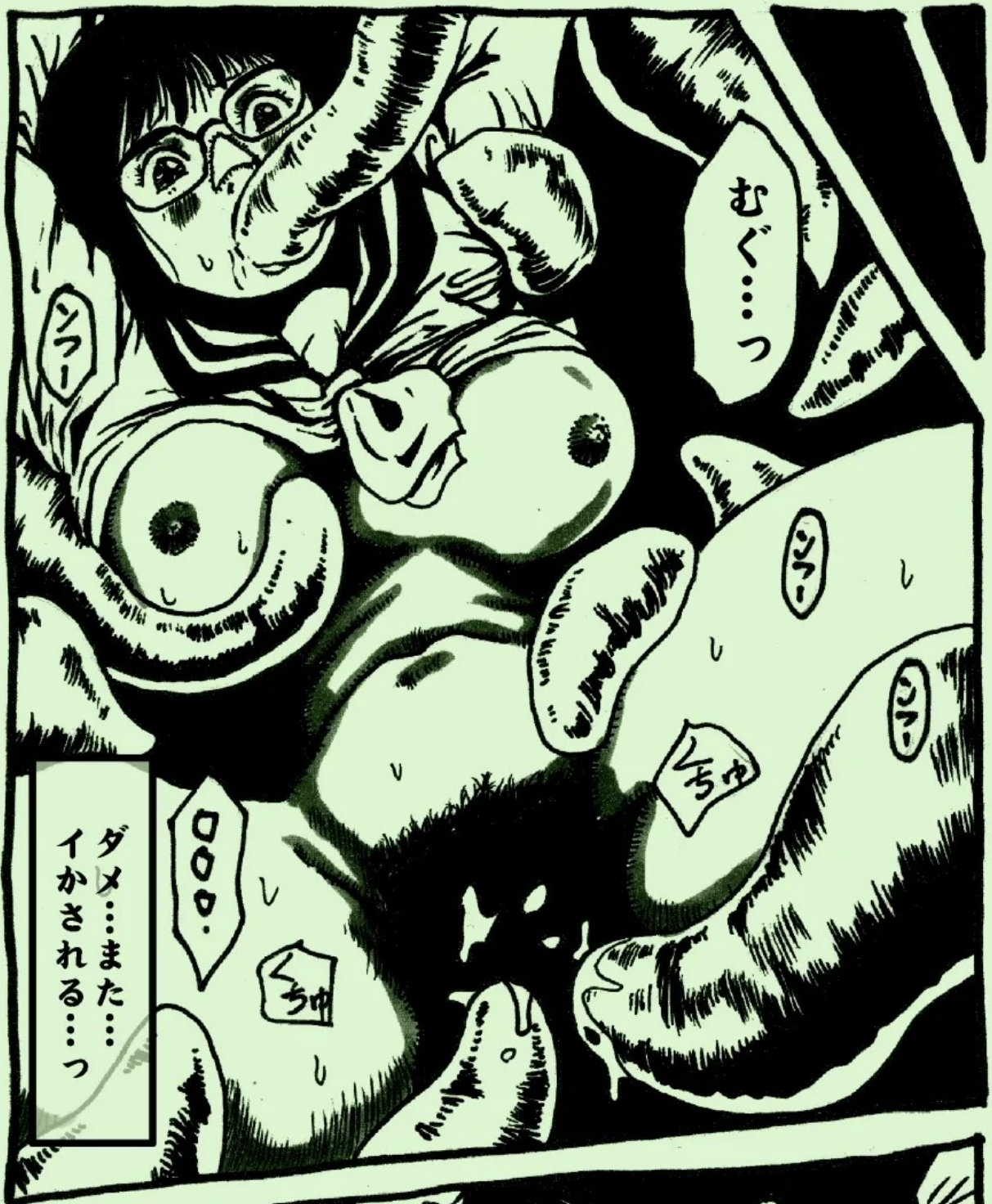
…身体が…



…!?







このままの流れで
考えると……たぶん

私、この触手に処女を
……奪われる……

でも、気持ちイイなら
それでも……

あ……ふ

は
?

構わな……

え!?



な
あ...あつ
ああつ

嫌
あああつ

ボゴ

うい
う





イ
イ
ひ
い
い
っ





イクイクううう



んなああ

ひやあ

決……
イク……

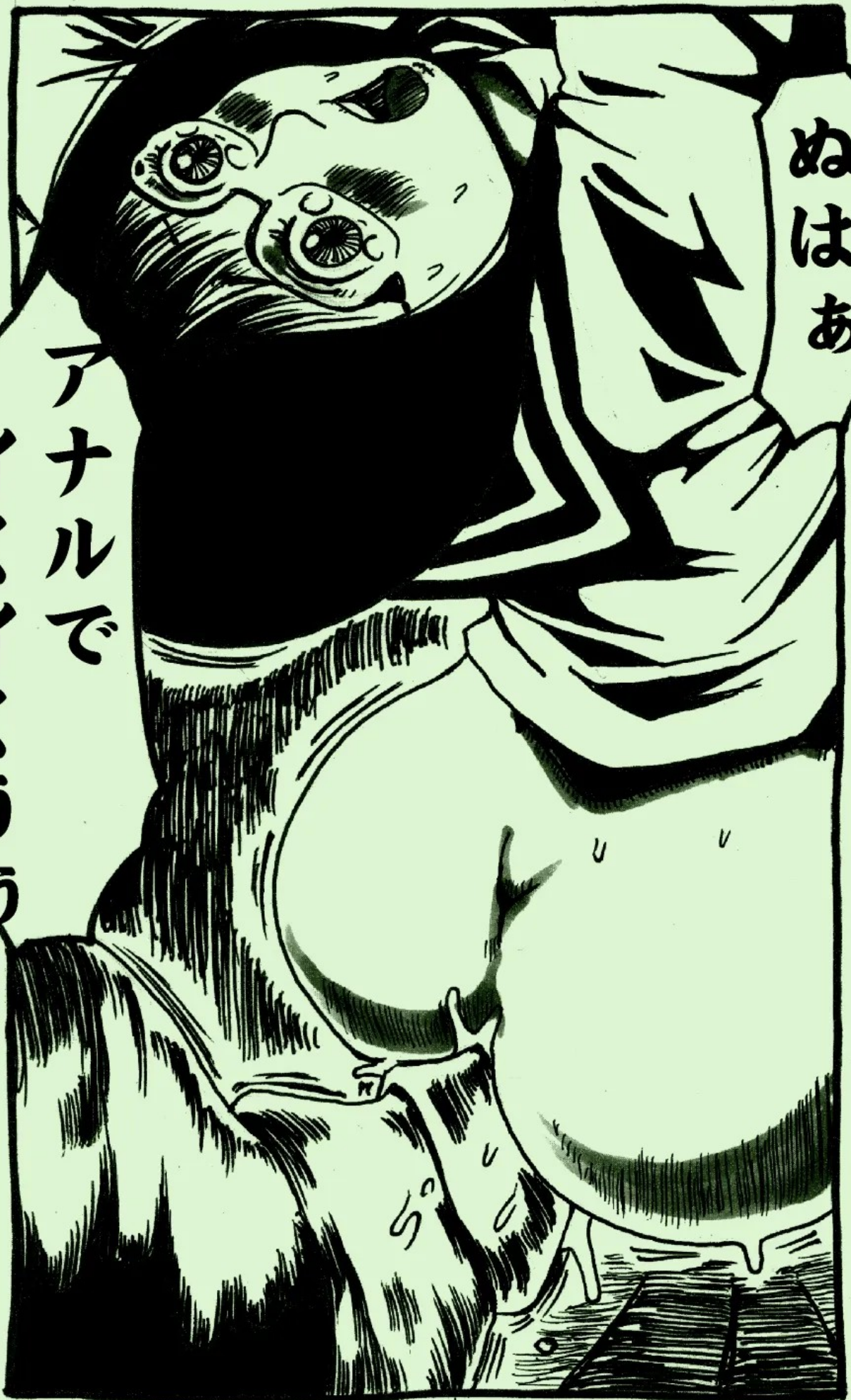


あひい

ぬはあ

アナルで

イクイクうう



ダメダメ
快感が…っ

強すぎ…

イってる、イってるからあ

ダメダメ…っ

脳みそが
……ああ

あ
う

ああああ

パンク…
…しちゃう



……私が「それ」から
解放されたのは……
実に10時間以上経って
からだった……

……
っ
死ぬ……
う

……母がなぜ「これ」を私に
残したのか、なぜ「処女」が
ダメなどというメモを残した
のか……

私がそれらについて理解するのは、
もう少し経ってからだった……

つづく